

ホームページ検索は・・・JR東日本労働組合長野地本

申1号 要求9項目

大会

発言

団体

交渉

J R 東 日 本 ユ ニ オ ン 長 野 地 本 団 体 交 渉 報 告

組合要求:必要な空調服は貸与すること。

会社回答:必要な備品等は準備していく。

東日本ユニオン

空調服については設備系の社員、支社社員でも現場に出向く社員には貸与。また新入社員にも貸与していく事を確認しました。また、空調服の導入時に混乱があった事をから、施策等の継続的な運用で現場が苦勞しない仕組み作りを求めました。

組合要求:社章、氏名札及び制服の貸与の拡充を図ること。

会社回答:現状とする。

東日本ユニオン

制服については規定により定められているが、社章・氏名札について定めはなく長野支社で決めている事が分かりました。また現状、兼務を除き1人一つとしていますが、会社の施策に伴い兼駅等働く場所の拡大となっていることから、規程等も柔軟に変えて社員に無駄な負担のないように規定等を変える必要があることを主張しました。

組合要求:兼駅に伴い、ガウンを常備すること。

会社回答:現状とする。

東日本ユニオン

乗務員とは異なり働く場所が固定されていることがガウンを常備しない理由であることが明確になりました。兼駅は会社の施策であり制服を含め、社員の持ち物が増えることの負担は減らすべきであることを求めました。また制帽については2つ貸与を検討していることが明らかになりました。

組合要求:作業効率改善のためPCの性能を改善すること。

会社回答:引き続き必要な対策は実施していく。

東日本ユニオン

PCの動作が遅い原因は「PCのスペック」と「回線」が主な原因であり、計画的に光回線へと取替予定。またPCについても「どこjoiPC」への交換の上申をしていると回答がありました。特に共用のPCの動作が遅いとの声が多く、せめて「joi-tab」からの印刷が可能となれば、作業が効率的になるものが多いと主張しました。

**組合要求:組織再編に伴う担務変更による社員の技能アップは責任を持って行うこと。**

会社回答:必要な教育・訓練等は実施している。

東日本ユニオン

駅の教育計画については、兼駅に伴い新しい担務につく際の OJT も含め訓練等は実施。また他職種からの異動は駅ごとに OJT 等計画は異なり、経歴や担う業務に合わせて計画されていると回答。この間を振り返ると、駅に異動した社員の教育計画には営業トレーニングセンターでの教育計画は無いのが現状で不安の声が何人からも聞こえた。営業トレーニングセンターの教育を仕組みの中に入れるべきであり、教育が後手後手となってはならないと主張しました。

**組合要求:原因究明から責任追及となっている安全に対する考え方を改めること。**

会社回答:当社は安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、安全性の向上に継続して取り組んでいるところである。

東日本ユニオン

事象が起きた時の原因は「基本動作ができなかった」となることが多いがしっかりと背後要因についても深堀していただきたい。また「正しい報告ができなかった」ということについても、事情聴取の方法等、話しやすい環境が必要であり、それは日常的な職場の環境、コミュニケーション、風通しの良い職場であるということが普段から必要であると主張しました。

**組合要求:組織再編に伴う乗務員区における適正な要員を配置すること。**

会社回答:業務の運営に必要な要員は配置している。

東日本ユニオン

休日勤務は 11 月の勤務指定段階で松本運輸区運転士、長野総合運輸区新幹線運転士、在来線運転士、小海線統括センター運転士、車掌で発生、要因は社員の退職等による事が明らかになりました。特に決まった曜日の休日勤務が目立っている事については、区所毎に分散させるよう努力しており状況は支社でも把握していました。乗務員については年明けごろに見習いが単独乗務となる事から休日勤務が一時的に落ち着くとの見解が示されました。

**組合要求:小海線 225D、226D、138D、147D をツーマン化すること。**

会社回答:現行どおりとする。

**組合要求:大系線 5115M、5117M をツーマン化すること。**

会社回答:現行どおりとする。

東日本ユニオン

小海線 225D、特に休日は精算対応等で遅れが増延、行き違い駅の変更も行っておりワンマン運転の性質上あってはならないと主張。会社も状況を把握しており、特改による対応を引き続き行っていくと回答あり。

大系線 5115M、5117M は今年ダイヤ改正でワンマン列車となったが、ダイヤ改正直後から部分的に全車扱いが常態化している。さらには、松本運輸区発意による松本→有明間で強制全車扱いが実施されている。議論では会社側は検証中、トライアルと言うが、ダイヤ改正時のワンマン化の判断が間違っていること、乗務員任せの判断はおかしい事、またワンマン列車における基本動作が行えない現状からツーマン化することを強く要求しました。